

科目名	言語 I A-3						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	N1レベルの文法項目を学び、日常的な場面に加え、さらに幅広い場面で使われる日本語を理解し、運用できるようにする。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常のより幅広い場面で必要なN1レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる	
	○	○				フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切に文法の使い分けができる	
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『TRY！日本語能力試験N1 文法から伸ばす日本語』（アスク出版 2022年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	授業概要説明 / ニュースを読む「オクトーバーフェスト」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	3・4	スピーチを聞く「産業医を増やそう」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	5・6	昔話を読む「飯食わぬ女房（1）」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	7・8	昔話を読む「飯食わぬ女房（2）」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	9・10	実用書を読む「上司との付き合い方（1）」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	11・12	実用書を読む「上司との付き合い方（2）」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	13・14	前期前半まとめ				授業内評価テスト準備	
	15・16	授業内評価テスト①(筆記) / 実力養成				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	17・18	ドラマのシナリオを読む「転職（1）」前半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	19・20	ドラマのシナリオを読む「転職（1）」後半 / 応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	21・22	ドラマのシナリオを読む「転職（2）」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	23・24	ドラマのシナリオを読む「転職（3）」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	25・26	スピーチをする「研修を終えて」				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	27・28	前期後半まとめ				授業内評価テスト準備	
	29・30	授業内評価テスト②(筆記) / 実力養成				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
授業内評価テスト(筆記)		◎	◎				60%
小テスト		◎	◎				20%
受講状況					◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語 I A-2						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間	担当者	徳田 万里子	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	N2レベルの文法項目を学び、日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる日本語を理解し、運用できるようになる。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				日常のより幅広い場面で必要なN2レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる	
	○	○				フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切に文法の使い分けができる	
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『TRY！日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語』（アスク出版 2020年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	授業概要説明/1. お知らせを読む スタッフ募集のお知らせ				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	3-4	2. スピーチをする 転任のあいさつ(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	5-6	2. スピーチをする 転任のあいさつ(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	7-8	3. 説明を聞く ホテルの仕事				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	9-10	4. ニュースを聞く 台風情報				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	11-12	5. 友達同士の会話 就職活動(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	13-14	5. 友達同士の会話 就職活動(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	15-16	授業内評価テスト①(筆記)/N2文法模擬試験				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	17-18	N2文法模擬試験				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	19-20	N2文法模擬試験				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	21-22	6. 友達同士の会話 苦労した5年間(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	23-24	6. 友達同士の会話 苦労した5年間(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	25-26	7. 論説文を読む オオカミと生態系(1)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	27-28	7. 論説文を読む オオカミと生態系(2)				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
	29-30	授業内評価テスト②(筆記)/前期総復習				新出語彙などは必ず家で復習をすること	
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語ⅠA-1						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	福永 沙耶花		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	日本語能力試験N3レベルの文法を教科書に沿って学習する。また、場面に応じて学んだ知識を運用できるよう、作文、発話練習を行い、日本語能力試験N3レベルの文法を習得する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常の幅広い場面で必要なN3レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる	
	○	○				フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切に文法の使い分けができる	
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『TRY! 日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語』(アスク出版 2017年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	授業説明、自己紹介／1 初めての富士登山(1)				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)	
	3・4	1 初めての富士登山(2)／まとめの問題				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)	
	5・6	2 ぼくの犬、クロ(1)				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)	
	7・8	2 ぼくの犬、クロ(2)				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)	
	9・10	まとめの問題／3 市民農園の募集(1)				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)	
	11・12	3 市民農園の募集(2)／まとめの問題				授業内評価テスト①の準備(2時間)	
	13・14	授業内評価テスト①前復習／授業内評価テスト①(筆記)				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)	
	15・16	4 水泳大会(1)／4 水泳大会(2)①				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)	
	17・18	4 水泳大会(2)②／まとめの問題				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)	
	19・20	5 手作りハムのレシピ(1)／5 手作りハムのレシピ(2)				教科書の復習(1時間)	
	21・22	まとめの問題／N3 文法 模擬試験				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)	
	23・24	6 里山について(1)／6 里山について(2)				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)	
	25・26	まとめの問題／7 不動産屋で(1)				教科書の新出語彙、文法の予習・復習 次の小テストの準備(1時間)	
	27・28	7 不動産屋で(2)／まとめの問題				授業内評価テスト②の準備(2時間)	
	29・30	前期総復習／授業内評価テスト②(筆記)					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語基礎 I A-3						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	日本語能力試験N1レベルの語彙をマスターするためにテキストに沿って学習し、語彙を積み上げていく。また、学んだ語彙を使用した発話練習も行う。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎	○				日本語能力試験N1レベルの語彙が読み書きできる	
		○				習得した語彙を適切な場面で運用できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『身近なテーマから広げる！にほんご語彙力アップトレーニング 初級が終わってからレベル』（アスク出版 2015年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、1課 電子レンジでチンをする ―料理―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	2	1課 電子レンジでチンをする ―料理―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	3	2課 寒気がする ―病気・症状―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	4	2課 寒気がする ―病気・症状―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	5	3課 カジュアルな感じ ―服選び―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	6	3課 カジュアルな感じ ―服選び―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	7	JLPT模擬試験と解説、1～3課の復習				授業の復習と次回の予習・授業内評価テストの準備(2時間)	
	8	授業内評価テスト①(筆記)				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	9	4課 発想力が豊か ―服選び―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	10	4課 発想力が豊か ―服選び―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	11	JLPT模擬試験と解説				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	12	5課 2LDKの高層マンション ―家探し―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	13	5課 2LDKの高層マンション ―家探し―				授業の復習と次回の予習・小テストの準備(1時間)	
	14	前期の復習				授業の復習と次回の予習・授業内評価テストの準備(2時間)	
	15	授業内評価テスト②(筆記)					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語基礎 I A-2						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	伊東 佳代
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	身近なテーマから語彙の知識を深めていき、中級レベル以降(N2レベル)の文字・語彙を使った表現の習得を目指す。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎	○				N2レベルの文字・語彙を覚え、自分の言葉で説明できる	
		○				場面に合わせて適切な語彙を使用できる	
テキスト・教材 参考図書	『身近なテーマから広げる！にほんご語彙力アップトレーニング 初級が終わってからレベル』(アスク出版 2015年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己紹介・授業の説明				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	2	電子レンジでチンする ～料理～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	3	電子レンジでチンする ～料理～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	4	寒気がする ～病気・症状～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	5	寒気がする ～病気・症状～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	6	応用問題				本日の授業の復習をする/ テスト対策	
	7	前期前半のまとめ／授業内評価テスト①(筆記)				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	8	カジュアルな感じ ～服選び～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	9	カジュアルな感じ ～服選び～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	10	発想力が豊か ～性格～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	11	発想力が豊か ～性格～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	12	2LDKの高層マンション ～家探し～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	13	2LDKの高層マンション ～家探し～				本日の授業の復習をする/ 次回の予習をしてくる/ 進出語彙は意味を調べて覚えてくる	
	14	応用問題				本日の授業の復習をする/ テスト対策	
15	前期後半まとめ／授業内評価テスト②(筆記)				本日の授業の復習をする		
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語基礎 I A-1						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	徳田 万里子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	身近なテーマから語彙の知識を深めていき、N3レベルの文字・語彙を使った表現の習得を目指す。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				日常生活に役立つ語彙を見て理解ができ、運用できる	
	○	○				使用場面に合わせて適切な語彙を選び、日常的な会話ができる	
		○				前後の文脈から空所に入る語を選ぶことができる	
テキスト・教材 参考図書	『日本語能力試験問題集 N3語彙 スピードマスター』（Jリサーチ出版 2021年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明 1. 時間				言葉の予習・復習	
	2	2. 3 家族・友人/食べる・飲む				言葉の予習・復習	
	3	4. 5 料理・味/レストラン				言葉の予習・復習	
	4	6・7 毎日の生活/電車				言葉の予習・復習	
	5	8. 9 飛行機・バス・車/家				言葉の予習・復習	
	6	10.11 街/お金・売る・買う				言葉の予習・復習	
	7	12.13 服・靴/色・形				授業内評価テスト①準備	
	8	授業内評価テスト①（筆記） 14. 数・量				言葉の予習・復習	
	9	15. 趣味・活動 第1回実践練習				言葉の予習・復習	
	10	16.17 郵便・宅配/人生				言葉の予習・復習	
	11	18.19 国・社会/産業・技術				言葉の予習・復習	
	12	20.21 材料・道具/自然①(自然と人間)				言葉の予習・復習	
	13	22.23 自然②(生き物と人間)/体・健康				言葉の予習・復習	
	14	24.25 気持ち/学校				授業内評価テスト②準備	
	15	授業内評価テスト②(筆記) 前期総復習					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3) 受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になる場合がある。						

科目名	言語応用 I A-3						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	幅広い場面で必要な読解力、聴解力の向上を目的としN1レベルの聴解・読解の問題に取り組む。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				N1レベルの語彙や表現を習得し、適切に使用することができる	
		○				耳からの情報だけで話の要点を理解し、適切な応答をすることができる	
		○				文章を正しく読み取り、文脈や話の意図を理解し、理解した内容を他者に説明できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター聴解 日本語能力試験N1』(スリーエーネットワーク 2017年) 『日本語総まとめ N1 読解』(アスク出版 2019年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明／聴解:問題紹介／読解:第1週1日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	2	聴解: I 音声の特徴に慣れる／読解:第1週2～3日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	3	聴解: II「即時応答」のスキルを学ぶ(1)／読解:第1週4～5日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	4	聴解: II「即時応答」のスキルを学ぶ(2)／読解:第1週6日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	5	聴解: II「即時応答」のスキルを学ぶ(3)／読解:第1週7日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	6	聴解: III「課題理解」のスキルを学ぶ(1)／読解:第2週1～2日目				授業内評価テスト準備	
	7	読解:第2週3～4日目／応用問題				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	8	前期前半まとめ/授業内評価テスト①(筆記)				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	9	聴解: III「課題理解」のスキルを学ぶ(2)／読解:第2週5～6日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	10	聴解: III「課題理解」のスキルを学ぶ(3)／読解:第2週7日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	11	聴解: III「課題理解」のスキルを学ぶ(4)／読解:第3週1～2日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	12	聴解: IV「ポイント理解」のスキルを学ぶ(1)／読解:第3週3～4日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	13	聴解: IV「ポイント理解」のスキルを学ぶ(2)／読解:第3週5～6日目				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
	14	読解:第3週7日目／応用問題				授業内評価テスト準備	
	15	前期後半まとめ / 授業内評価テスト②(筆記)				新出語彙等は必ず家で復習をすること	
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語応用 I A-2						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	橋本 秀子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	日本語能力試験N2レベルの聴解・読解問題に取り組み、幅広い場面で必要な読解力、聴解力を習得する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				N2レベルの語彙や表現を習得し、適切に使用することができる	
		○				耳からの情報だけで話の要点を理解し、適切な応答をすることができる	
		○				文章を正しく読み取り、文脈や話の意図を理解し、理解した内容を他者に説明できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター聴解 日本語能力試験N2』(スリーエーネットワーク 2011年) 『日本語総まとめ N2 読解』(アスク出版 2016年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明／聴解:問題紹介／読解:第1週1～2日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	2	聴解:問題紹介／読解:第1週3～4日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	3	聴解:似ている音の聞き分け／読解:第1週5～7日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	4	聴解:音の変化や縮約形／読解:第2週1～2日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	5	聴解:Ⅱ 即時応答のスキルを学ぶ(1)1-A・1-B／読解:第2週3～4日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	6	聴解:Ⅱ 即時応答のスキルを学ぶ(1)1-C／読解:第2週5～6日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	7	聴解:Ⅱ 即時応答のスキルを学ぶ(1)1-D／読解:第2週7日目				新出語彙等の復習・次回授業内評価テストの準備(2時間)	
	8	授業内評価テスト①(筆記)、聴解:Ⅱ 即時応答のスキルを学ぶ(1)1-E				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	9	聴解:Ⅱ 即時応答のスキルを学ぶ(2)2-A／読解:第3週1～2日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	10	聴解:模擬問題／読解:第3週3～4日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	11	聴解:Ⅱ 即時応答のスキルを学ぶ(2)2-B／読解:模擬問題				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	12	聴解:Ⅱ 即時応答のスキルを学ぶ(2)2-C／読解:第3週5～6日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	13	聴解:Ⅲ「課題理解」のスキルを学ぶ(1)／読解:第3週7日目				新出語彙等の復習・次回小テストの準備(1時間)	
	14	聴解:Ⅲ「課題理解」のスキルを学ぶ(2)／前期の復習				新出語彙等の復習・次回授業内評価テストの準備(2時間)	
	15	前期まとめ／授業内評価テスト②(筆記)					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3) 受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語応用 I A-1						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	柴田 智子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	日本語能力試験N3に合格できるレベルの聴解力、読解力を身につけるため、テキストに沿って練習していく。N3レベルの文法、語彙も確認していく。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				日常生活に役立つ、簡単な聞き取りや説明を聞いて、内容が説明できる	
		○				お知らせや案内、新聞などを読んで、必要な情報がとれる	
		○				比較的平易な意見文、説明文などの問題に対し、適切な答えが選択できる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター 聴解 日本語能力試験N3』（スリーエーネットワーク 2019年） 『日本語能力試験対策 日本語総まとめ 読解N3』（アスク出版 2019年）						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	授業概要説明 読解：第1週1日目 案内① 聴解：問題紹介					新出語彙などは必ず復習すること
	2	読解：第1週2日目 案内② 聴解：Ⅰ 音声の特徴に慣れる 1. 似ている音の聞き分け					新出語彙などは必ず復習すること
	3	読解：第1週3日目 案内③ 聴解：Ⅰ 音声の特徴に慣れる 2. 音の変化					新出語彙などは必ず復習すること
	4	読解：第1週4日目 試験要項 聴解：Ⅰ 音声の特徴に慣れる 3. 音の高さや長さに注意する					新出語彙などは必ず復習すること
	5	読解：第1週5日目 募集① 聴解：Ⅱ「発話表現」のスキルを学ぶ 1. 状況説明文を聞き分ける					新出語彙などは必ず復習すること
	6	読解：第1週6日目 募集② 聴解：Ⅱ「発話表現」のスキルを学ぶ 2-A 許可や依頼の表現					新出語彙などは必ず復習すること
	7	読解：第1週7日目 実践問題 第2週1日目 カタログ① 聴解：Ⅱ「発話表現」のスキルを学ぶ 2-B 注意するべき動詞					授業内評価テスト①の準備
	8	授業内評価テスト①(筆記) 読解：第2週2日目 カタログ②					新出語彙などは必ず復習すること
	9	読解：第2週3日目 お知らせ 第2週4日目 説明書① 聴解：Ⅱ「発話表現」のスキルを学ぶ 3. 問題を知らせる・助けを申し出る表現に注意する					新出語彙などは必ず復習すること
	10	読解：第2週5日目 説明書② 第2週6日目 保証書 聴解：Ⅱ「発話表現」のスキルを学ぶ 4. あいさつ表現に注意する					新出語彙などは必ず復習すること
	11	読解：第2週7日目 実践問題 第3週1日目 メール① 聴解：Ⅱ「発話表現」のスキルを学ぶ 確認問題					新出語彙などは必ず復習すること
	12	読解：第3週2日目 メール② 第3週3日目 手紙・はがき① 聴解：Ⅲ「即時応答」のスキルを学ぶ 1-A 敬語					新出語彙などは必ず復習すること
	13	読解：第3週4日目 手紙・はがき② 第3週5日目 手紙・はがき③ 聴解：Ⅲ「即時応答」のスキルを学ぶ 1-B 間違えやすい表現					新出語彙などは必ず復習すること
	14	読解：第3週6日目 FAX(ビジネスレター) 第3週7日目 実践問題 聴解：Ⅲ「即時応答」のスキルを学ぶ 2-A 会話でよく使われる表現					授業内評価テスト②の準備
	15	授業内評価テスト②(筆記) 前期総復習					
評価方法	(1)授業内評価テスト(筆記)を実施する (2)小テスト、課題を実施する (3)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	通訳 I A						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 雅彦
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	日本語を聞く、話す、書くに焦点をあて、初歩的な通訳スキルを学ぶ。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					テーマごとに必要な語彙を覚える	
		○				適切な語彙、文法を使って読み手にわかりやすい文章を作成することができる	
		○				適切な語彙、文法を使って聞き手にわかりやすく口頭で説明することができる	
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	原稿用紙の使い方(横書き)／この1年で頑張りたいこと					次回テーマについて予習(1時間)
	2	来日から現在までを振り返る①語彙、文法					次回発表、小テストの準備(1時間)
	3	来日から現在までを振り返る②アウトプット					次回テーマについて予習(1時間)
	4	私の国①語彙、文法					次回発表、小テストの準備(1時間)
	5	私の国②アウトプット					次回テーマについて予習(1時間)
	6	日本の紹介①語彙、文法					次回発表、小テストの準備(1時間)
	7	日本の紹介②アウトプット					授業内評価テストの準備
	8	授業内評価テスト(筆記)(1)／応用力養成作文①語彙、文法					次回発表、小テストの準備(1時間)
	9	応用力養成作文②アウトプット					次回テーマについて予習(1時間)
	10	習慣①語彙、文法					次回発表、小テストの準備(1時間)
	11	習慣②アウトプット					次回テーマについて予習(1時間)
	12	食品ロス①語彙、文法					次回発表、小テストの準備(1時間)
	13	食品ロス②アウトプット					次回テーマについて予習(1時間)
	14	前期復習					授業内評価テストの準備
	15	授業内評価テスト(筆記)(2)					
評価方法	(1)前回の復習テストを毎回実施する(筆記または口述) (2)授業内評価テスト(筆記)を実施する (3)受講状況以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	ビジネスコミュニケーション I A						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	福永 沙耶花
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	社内外で遭遇するビジネスの場面において、日本語でスムーズに業務を行うために必要な基本的な敬語表現、ビジネスマナーなどを学習する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				日本でのビジネスに必要な語彙、表現を覚え、使用できる	
		○				相手から発された会話に対し、適切な応答ができる	
		○				適切な敬語、マナー、日本の習慣、慣習も踏まえた発話ができる	
テキスト・教材 参考図書	『にほんごで働く！ ビジネス日本語30時間』(スリーエーネットワーク 2020年)						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	自己紹介、授業概要説明、第1課「紹介する」新出語彙導入					
	2	第1課「紹介する」敬語の復習、自己紹介					
	3	第1課「紹介する」他社の人にあいさつする					スキットの準備
	4	第1課「紹介する」スキット発表					第1課の復習 第2課の「ことば」を調べる
	5	第2課「あいさつをする」新出語彙導入、場面ごとのあいさつ					
	6	第2課「あいさつをする」お祝いを言う					
	7	第2課「あいさつをする」帰国のあいさつ					スキットの準備
	8	第2課「あいさつをする」スキット発表					第2課の復習 第3課の「ことば」を調べる
	9	授業内評価テスト(筆記)/第3課「電話をかける・受ける」新出語彙導入					
	10	第3課「電話をかける・受ける」伝言を受ける					
	11	第3課「電話をかける・受ける」電話をかける					スキットの準備
	12	第3課「電話をかける・受ける」スキット発表					第3課の復習 第4課の「ことば」を調べる
	13	第4課「注意をする・注意を受ける」新出語彙導入					
	14	第4課「注意をする・注意を受ける」注意をする・謝る					スキットの準備
	15	第4課「注意をする・注意を受ける」スキット発表 前期のまとめ					定期試験のための復習
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業内評価テスト(筆記)を実施する(3)各課毎の小テストを実施する (4) 受講状況以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				20%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	日本語能力試験対策A-3						
科目名(英)							
単位数	6単位		時間数	90時間		担当者	大神 久美子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	日本語能力試験N1レベルの問題演習を行い、語彙・文法・読解問題の解き方をマスターする。日常的な場面だけではなく、新聞の論説、評論など難易度の高い文章を読む。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				難易度の高い社会、経済、産業、身体、健康など幅広い分野で使われる語彙の意味が説明できる	
		○				事柄を説明したり、主観を述べたりする場合の表現を学習し、適切な文法形式が判断できる	
		○				指示文、評論やエッセイなどを読んで因果関係や理由、話の流れなどを理解し、内容について答えることができる	
テキスト・教材 参考図書	『日本語能力試験20日で合格N1文字・語彙・文法 改訂版』(国書刊行会 2012年) 『日本語能力試験N1読解必修パターン』(Jリサーチ出版 2015年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-3	N2模擬試験・解説/N1の概要・授業概要				「20日で合格N1」第1日予習(1時間)	
	4-6	N1文字・語彙文法第1日/読解1章1「指示詞の内容」				「20日で合格N1」第2日予習(1時間)	
	7-9	N1文字・語彙文法第2日/読解1章2「事実関係」				「20日で合格N1」第3日予習(1時間)	
	10-12	N1文字・語彙文法第3日/読解1章3「言葉の意味」				「20日で合格N1」第4日予習(1時間)	
	13-15	N1文字・語彙文法第4日/読解1章4「話の展開」				「20日で合格N1」第5日予習(1時間)	
	16-18	N1文字・語彙文法第5日/読解1章5「人物の気持ち」				「20日で合格N1」第6日予習(1時間)	
	19-21	N1文字・語彙文法第6日/読解1章6「理由や根拠」				「20日で合格N1」第7日予習(1時間)授業内評価テストのための復習(1時間)	
	22-24	N1文字・語彙文法第7日／授業内評価テスト(筆記)				「20日で合格N1」第8日予習(1時間)	
	25-27	N1文字・語彙文法第8日/読解1章7「全体の内容」				「20日で合格N1」第9日予習(1時間)	
	28-30	N1文字・語彙文法第9日/読解1章8「筆者が言いたいこと」				「20日で合格N1」第10日予習(1時間)	
	31-33	N1文字・語彙文法第10日/読解1章9「連絡文」				言葉、表現の復習(1時間)	
	34-36	N1模擬試験、解説				「20日で合格N1」第11日予習(1時間)	
	37-39	N1文字・語彙文法第11日/読解1章10「情報検索」				「20日で合格N1」第12日予習(1時間)	
	40-42	N1文字・語彙文法第12日/読解2章長文A 1「解説」 読解復習				「20日で合格N1」第13日予習(1時間)	
	43-45	総復習				定期試験のための復習(2時間)	
評価方法	(1)小テストを数回実施する(2)宿題を数回課す(3)授業内評価テスト(筆記)を実施する(4)定期試験(筆記)を実施する(5)受講状況は出席状況、授業態度、課題提出状況を観点とする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				20%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	日本語能力試験対策A-2						
科目名(英)							
単位数	6単位		時間数	90時間		担当者	柴田 智子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	日本語能力試験N2の合格を目的に、日常での会話文のみならず、新聞記事や平易な評論などを理解できるようになるようテキストの練習問題に沿って学習する。また、学習しながら試験合格のために有効な解法を学習する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				社会、自然科学、環境、産業技術など、広い範囲で使われる語彙の意味が説明できる	
		○				事柄を説明したり、主観を述べたりする場合の適切な文法形式が判断できる	
		○				説明文、指示文、評論などを読んで因果関係や話の流れを理解し、内容について答えることができる	
テキスト・教材 参考図書	『日本語能力試験20日で合格N2文字・語彙・文法[改訂版]』(2018年 国書刊行会) 『日本語能力試験問題集N2読解必修パターン』(2017年 Jリサーチ出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-3	N2文字・語彙文法「第1日」／読解1章1「指示詞の内容」				「20日で合格N2」第1日予習(1時間)	
	4-6	N2文字・語彙文法「第2日」／読解1章2「事実関係」				「20日で合格N2」第2日予習(1時間)	
	7-9	N2文字・語彙文法「第3日」／模擬試験(実力チェック)				「20日で合格N2」第3日予習(1時間)	
	10-12	模擬試験(実力チェック)(続き)・JLPTの勉強法について／読解1章3「言葉の意味」				「20日で合格N2」第4日予習(1時間)	
	13-15	N2文字・語彙文法「第4日」／読解1章4「話の展開」				「20日で合格N2」第5日予習(1時間)	
	16-18	N2文字・語彙文法「第5日」／読解1章5「人物の気持ち」				「20日で合格N2」第6日予習(1時間)	
	19-21	N2文字・語彙文法「第6日」／読解1章6「理由や根拠」				「20日で合格N2」第7日予習(1時間)／授業内評価テストのための復習(1時間)	
	22-24	N2文字・語彙文法「第7日」／授業内評価テスト(筆記)				「20日で合格N2」第8日予習(1時間)	
	25-27	N2文字・語彙文法「第8日」／読解1章7「全体の内容」				「20日で合格N2」第9日予習(1時間)	
	28-30	N2 模擬試験、解説				「20日で合格N2」第10日予習(1時間)	
	31-33	N2文字・語彙文法「第9日」／読解1章8「筆者が言いたいこと」				言葉、表現の復習(1時間)	
	34-36	N2文字・語彙文法「第10日」／読解1章9「連絡文」				「20日で合格N2」第11日予習(1時間)	
	37-39	N2文字・語彙文法「第11日」／読解1章10「情報検索」				「20日で合格N2」第12日予習(1時間)	
	40-42	N2文字・語彙文法「第12日」／読解2章長文A 1「解説」				「20日で合格N2」第13日予習(1時間)	
	43-45	総復習				定期試験のための復習(2時間)	
評価方法	(1)小テストを数回実施する(2)宿題を数回課す(3)授業内評価テスト(筆記)を実施する(4)定期試験(筆記)を実施する(5)受講状況は出席状況、授業態度、課題提出状況を観点とする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				20%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	日本語能力試験対策A-1						
科目名(英)							
単位数	6単位		時間数	90時間	担当者	福永 沙耶花	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語を理解し、運用力を身に付けることを目的に、日本語能力試験N3の合格を目標とした対策授業を行う。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：	○	演習：	△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					N3の問題形式を理解し、解答に必要な文字語彙や文法表現を覚える	
		○				既習の知識を応用し、的確に解答することができる	
テキスト・教材 参考図書	『日本語能力試験20日で合格 N3文字・語彙・文法』(国書刊行会 2018年) 『日本語能力試験問題集N3読解スピードマスター』(Jリサーチ 2019年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-3	授業概要説明 N3文字・語彙文法第1日/ N3読解 ウォーミングアップ				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	4-6	N3文字・語彙文法第2日/ N3読解短文(1)～(5)				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	7-9	N3文字・語彙文法第3日/ N3読解中文(1)～(3)				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	10-12	N3模擬試験①				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	13-15	N3文字・語彙文法第4日/ N3読解長文(1)～(2)				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	16-18	N3文字・語彙文法第5日/ N3読解情報検索(1)～(3)				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	19-21	N3文字・語彙文法第6日/ N3読解短文(6)～(10)				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	22-24	N3文字・語彙文法第7日/授業内評価テスト(筆記)				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	25-27	N3文字・語彙文法第8日/N3読解中文(4)～(6)				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	28-30	N3文字・語彙文法第9日/N3読解長文(3)～(4)				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	31-33	N3模擬試験②				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	34-36	N3文字・語彙文法第10日/N3読解情報検索(4)～(6)				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	37-39	N3文字・語彙文法第11日/読解短文(11)～(15)				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	40-42	N3文字・語彙文法第12日/読解中文(7)～(9)				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
	43-45	N3文字・語彙文法第13日/前期総復習				分からない語彙等はノートにまとめ、必ず家で復習をすること(1時間)	
評価方法	(1)小テストを数回実施する(2)宿題を数回課す(3)授業内評価テスト(筆記)を実施する(4)定期試験(筆記)を実施する(5)受講状況は出席状況、授業態度、課題提出状況を観点とする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				20%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	実践ビジネスコミュニケーションA						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	福永 沙耶花	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	PJC実践コミュニケーション検定・ブリッジAレベル取得とビジネスの現場でのコミュニケーション技能の習得を目的とし、日本のビジネスマナー、状況や場面に応じた適切な対応・判断・言葉遣い、正しい敬語表現について学習する。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					PJC合格に必要な語彙を理解、認識できる	
		○				PJC合格に必要な文法や会話表現を理解し、実践的な会話で 사용할 ことができる	
		○				日本企業で働く際に必要なマナー、対応、適切な言葉遣いが選択できる	
テキスト・教材 参考図書	『マンガで体験！日本のカイヤ』（日本漢字能力検定協会 2017年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明 検定試験の説明 担当者不在時の電話応対 Chapter I-1				担当者不在時の電話応対例の暗記	
	2	報告・連絡・相談のやり方 Chapter I-2				「ほうれんそう」表現の暗記	
	3	問い合わせへの電話応対 Chapter I-3				問い合わせ表現の暗記	
	4	ビジネスメールの書き方 Chapter I-4				ビジネスメール形式でのメールの練習	
	5	職場での先輩への相談の仕方 Chapter I-5				相談の表現で文を作成する（プリント配布）	
	6	社内の人の呼び方、社外の人の呼び方 Chapter I-6				社内・社外の人になって会話を作成（プリント配布）	
	7	電話内容の伝言・メモの仕方 Chapter I-7				メモを見て伝える練習（プリント配布）	
	8	授業内評価テスト（筆記） 約束の確認の仕方 Chapter I-8				確認表現の暗記	
	9	人を紹介する際のマナー（社内・社外、目上・目下） Chapter I-9				会話文作成（プリント配布）	
	10	有給休暇を申請する際の言い方とマナー Chapter I-10				休暇を願い出るときの表現の暗記	
	11	出社と退社のあいさつ・マナー Chapter II-11				会話文作成（プリント配布）	
	12	仕事を担当する際の心得 Chapter II-12				仕事の内容を確認する表現を暗記	
	13	話を中断させる際の表現とマナー Chapter II-13				模試問題（プリント配布）	
	14	ビジネスメールの書き方 Chapter II-14				模擬問題（プリント配布）	
	15	まとめ・定期試験準備					
評価方法	(1)前回の復習テストを毎回実施する（筆記または口述）(2)授業内評価テスト（筆記）を実施する (3)定期試験（筆記）を実施する (4)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験（筆記）	◎	◎				40%
	授業内評価テスト（筆記）	◎	◎				20%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	比較文化論A										
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		寺崎 葉子		
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	国際ビジネス科1年										
授業概要	1)日本の古来から伝わる伝統、文化、慣習、年中行事に関する知識を広げるとともに現在の日本社会について学ぶ。 2)日本と他国との違いを理解、認識する。										
	iCDタスクコード										
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					日本、または各国の文化、慣習についての知識を得る					
		○				上記についての考察を行い、その文化、慣習の背景、理由、メリットまたはデメリットを理解できる					
		○		○		積極的に授業に参加し、ディスカッションでも自分の意見、考えを発表できる					
テキスト・教材 参考図書	講師作成プリント使用（参考図書）『クローズアップ日本事情15 日本語で学ぶ社会と文化』(The Japan Times)他										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	授業概要説明・異文化について									
	2	日本の地理的概要理解1									
	3	日本の地理的概要理解2									
	4	日本の暮らし1									
	5	日本の暮らし2									
	6	日本の暮らし3									
	7	日本の交通機関1									
	8	日本の交通機関2									
	9	日本の交通機関3・授業内評価テスト(筆記)									
	10	日本の食事1					自国の料理について説明できるように準備				
	11	日本の食事2									
	12	日本の食事3									
	13	年中行事1									
	14	年中行事2					これまでの学習内容の確認をしておくこと				
	15	年中行事3・まとめ・定期試験対策									
評価方法	(1)定期試験(筆記)(2)授業内評価テスト(筆記)(3)小テスト(4)受講状況(出席状況、授業態度、課題提出状況)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	
	定期試験(筆記)	◎		◎						40%	
	授業内評価テスト(筆記)	◎		◎						20%	
	小テスト	◎		◎						20%	
	受講状況					◎				20%	
履修上の注意											

科目名	企業実務A						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	寺崎 葉子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	日本におけるビジネスマナーの基礎である挨拶、身だしなみ、言葉づかいを理解するとともに、会社における基本的なマナー、慣習を实践できるよう講義を中心に、演習も交えて授業を行う。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					社会人として必要なマナー関連語彙がわかるようになる	
	○					日本の会社の慣習、企業文化についての語彙を覚える	
	○	○				日本の会社の慣習、企業文化について、その背景、理由を理解し、説明できる	
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成教材使用 【参考図書】『留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール』（日本能率協会マネジメントセンター2020年）						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	講座概要説明・マナーの重要性を考える／あいさつの基本①					
	2	あいさつの基本②					
	3	身だしなみについて①					
	4	身だしなみについて②					
	5	身だしなみについて③					
	6	話の聞き方・話し方・返事の仕方①					
	7	話の聞き方・話し方・返事の仕方②					
	8	言葉づかい①					
	9	言葉づかい②					試験範囲の復習をしておくこと
	10	授業内評価テスト(筆記)・言葉づかい③					
	11	電話の受け方					
	12	電話のかけ方					
	13	電話での表現					
	14	報告・連絡・相談					これまでの授業内容の復習をしておくこと
	15	まとめ・定期試験準備					これまでの授業内容の復習をしておくこと
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業内評価テスト(筆記)を実施する (3)小テストを実施する(4)受講状況は出席状況、授業態度、課題提出状況を観点とする 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				40%
	授業内評価テスト(筆記)	◎	◎				20%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況	○	○		◎		20%
履修上の注意	授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	IT基礎A										
科目名(英)											
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		乙咩 清美		
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	国際ビジネス科1年										
授業概要	日本版のOffice(主にWord)を使用し、操作方法を学び、実務に合わせた基礎演習を中心に授業を行う。また、日本語入力の基礎を固めるため、毎日パソコン入力コンクールを目指し、ローマ字入力や日本語タイピングの演習を行う。										
	iCDタスクコード										
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				日本語入力に必要なローマ字を覚えて使うことができる					
			○			ローマ字入力を用いてタイピング操作ができる					
		○	○			Wordの基本操作を身につけ、ビジネス文書作成や表作成ができる					
テキスト・教材 参考図書	『留学生のためのITテキスト』(日経BP社 2019年)										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1-2	基本操作と文字の入力1-1～1-4									
	3-4	基本操作と文字の入力1-5、タイピング練習①					ローマ字について復習しておくこと。				
	5-6	基本操作と文字の入力1-6～1-8、タイピング練習②					ローマ字入力の練習をしておくこと。				
	7-8	基本操作と文字の入力1-9、タイピング練習③									
	9-10	基本操作と文字の入力1-10～1-12、タイピング練習④					タイピングの練習をしておくこと				
	11-12	ビジネス文書の作成2-1～2-3、タイピング練習⑤					タイピングの練習をしておくこと				
	13-14	ビジネス文書の作成2-4～2-5、タイピング練習⑥					タイピングの練習をしておくこと				
	15-16	ビジネス文書の作成2-6～2-7、タイピング練習⑦					タイピングの練習をしておくこと				
	17-18	表の作成と編集3-1～3-3、タイピング練習⑧					タイピングの練習をしておくこと				
	19-20	表の作成と編集3-4、毎パソ実施(予定)					タイピングの練習をしておくこと				
	21-22	オブジェクトの挿入4-1～4-2、タイピング練習⑨					Wordの基礎操作を練習しておくこと				
	23-24	オブジェクトの挿入4-3～4-4、タイピング練習⑩					Wordの基礎操作を練習しておくこと				
	25-26	オブジェクトの挿入4-5～5-6、タイピング練習⑪					Wordの基礎操作を練習しておくこと				
	27-28	課題の発表					Wordの基礎操作を練習しておくこと				
	29-30	授業内評価テスト(実技)					Wordの基礎操作を練習しておくこと				
評価方法	(1)授業内評価テスト(実技)を実施する(2)授業の中で課題を作成する。(3)出席回数、授業態度を評価する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	
	課題	○		◎						50%	
	授業内評価テスト(実技)	○		◎				○		40%	
	受講状況							◎		10%	
履修上の注意											

科目名	社会教養						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	寺崎 葉子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	国際ビジネス科1年						
授業概要	1)麻生塾の教育方針の理解・麻生塾の学生として学生生活を送る上で必要なルールを理解する。 2)2年間の学生生活で自分の目標を達成するため、1年次をどのように過ごすか考える。 3)クラス活動を通し、実践的な日本語力を向上させる。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					学生生活に必要なルール、学校の規則、マナーに関する言葉を理解する	
		○				学習した麻生塾での学生生活に必要なルール、学校の規則、マナーを実践できるようになる	
		○		○		授業に積極的に参加し、課題にも真摯に取り組み、提出期限までに提出できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成プリント（参考図書）麻生塾GCB I テキスト等						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	専門学校の理解・麻生塾の理解・目標設定①					
	2	専門学校の理解・麻生塾の理解・目標設定②				個人の前期目標・年間目標も考えておく	
	3	専門学校の理解・麻生塾の理解・目標設定③					
	4	クラス内活動①					
	5	クラス内活動②					
	6	クラス内活動③					
	7	学校の理解・日本の理解①					
	8	学校の理解・日本の理解②					
	9	クラス行事					
	10	日本語力向上対策①					
	11	日本語力向上対策②					
	12	日本語力向上対策③					
	13	麻生塾での就職活動について①				就職ノートを準備すること	
	14	麻生塾での就職活動について②					
	15	夏休み前注意・期末試験について					
評価方法	(1)課題提出状況 (2)受講状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(60点未満)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題	○	○		◎		50%
	受講状況				◎		50%
履修上の注意	授業計画は状況により内容を変更することがある。						